



第1回 みぢかな自然観察会 ～初夏の生きもの～

散策しながら、虫とりや植物を観察しました。
 今回参加した方は、「水晶山緑地は初めて行ったので、どんな植物が生えているのか興味がありました。御嶽山と同じ地層でできているとは知りませんでした。ネジキやソヨゴ、ガマズミなど初夏の白い花がきれいでした。」と振り返りました。また、「普段気が付かない場所に多くの自然があることに驚きです」といった声も聞かれました。
 (開催日:5/13 場所:水晶山緑地 企画:日進岩藤川自然観察会)



梨子ノ木の小路で草地の生き物さがし

快晴の下、参加者 18 名と梨子ノ木の小路を歩きました。ピョンと跳ねるカエル、うようよ動くシャクトリムシ、モズの鳴き声、草花の特徴がわかった等、様々な生き物を観察する中で、多くの驚きと発見がありました。
 (開催日:5/20 場所:梨子ノ木の小路 企画:梨子ノ木自然観察会)



ホタル観賞会

台風が近づき、雨が心配でしたが何とか実施することができました。「ホタルの一生と川の環境」の動画を見ていただき、その後ホタルを観賞しました。だんだんと風も治まりいよいよホタルたちの出番です。参加者は雄と雌の見分け方、ゲンジとハイケの大きさの違いを教えてもらいました。午後8時頃になるとオスがふわりと舞い始め、ホタルシーズン終盤の一夜を楽しんでもらいました。
 (開催日:6/1 場所:折戸川ホタルの里 企画:折戸川にホタルを飛ばそう会)



第1回 外来種バスター～里山をウォーキングしながらオオキンケイギク駆除～

里山を散策しながら外来種を学ぶ講座を行いました。まずは座学で、特定外来生物やそれに関する法律などを学びました。今回駆除は行いませんが、次回駆除を行うアメリカザリガニが条件付特定外来生物に指定されたことも伝えられました。その後、オオキンケイギクの抜き取りを行いました。在来種を守り、生物多様性に寄与する活動となりました。
 (開催日:6/3 場所:五色園 企画:NPO法人生物多様性愛護会)



第1回 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう(田植え)

コロナ感染が下火になり、4年ぶりに横1列に並んで田植えをしました。効率よくきちんと苗を植えるためにスタッフが植える位置を示す紐を操作し、それに沿って植えていきました。区画を区切り、子どもたちが泥遊びをできるような場所も作りました。子どもたちはおたまじゃくしやカエルを捕まえて楽しんでいました。

(開催日:6/3 場所:さんかくたんぼ 企画:につしん市民環境ネット)



第2回 みぢかな自然観察会 ~につしん しぜん・生きもの図鑑~

市内に生息する生き物の実物展示を行いました。展示には会員が作成した解説がセットになっていました。また、その場にいる会員の解説も聞くことができました。来場者の感想では、「ヤママユの展示が迫力あった。」、「解説が素晴らしい。」、「知らない虫や昆虫がしくて嬉しかった。」など、展示と解説に満足した様子でした。

(開催日:6/8~6/11 場所:図書館 企画:日進岩藤川自然観察会)



第1回 段ボールコンポストを作って使ってみよう(導入)

家庭の生ごみを堆肥化して、ごみを減らすことができる段ボールコンポストの作成講座を行いました。段ボールコンポストの仕組み、使い方、注意点などが、スライドや実物を使って説明されました。参加者からはたくさんの質問がありました。また、参加者同士も和気あいあいという感じで話が膨らみました。段ボールコンポストやごみ減量に対する興味関心の深さが感じられました。

(開催日:6/15 場所:エコドーム 企画:NPO 法人日進野菜塾)



第2回 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう(除草と自然観察会)

最初に稲の生育状況についての説明がありました。「これから稲がどのように育つのか、学んだ。次回までにどこまで育つのか、楽しみ。」という声が聞かれました。次に、田んぼに生息する生き物の説明がありました。その後、実際に田んぼで生き物を採集し、それらについて解説がありました。「たくさんの生きものを見て、田んぼの豊かさと、自分が今までどれだけ自然に無関心だったかに気づいた。」という参加者もいました。また、自然観察会と並行して、除草作業も行いました。

(開催日:6/17 場所:さんかくたんぼ 企画:につしん市民環境ネット)



ハーブを使った香りの小物作り

ハーブの香り成分についての話を聞いたあと、ラベンダーとフジバカマの2種類を使った香り袋と、ラベンダースティックを作りました。「スタッフが丁寧に教えてくれて、難しそうなハーブスティックを作ることができて嬉しかった。」という参加者もいました。参加者同士で会話を弾ませながら、和やかな雰囲気での楽しい講座となりました。

(開催日:6/24 場所:生涯学習プラザ 企画:愛知池友の会)



第2回 外来種バスター ～ザリガニ釣りで外来種を学ぼう～

ザリガニ釣りを通して外来種について学ぶ講座を行いました。
外来種に関する説明の後、みんなでザリガニを釣りました。短い時間でしたがたくさん釣ることができました。アメリカザリガニは身近な生き物ですが、生態系に非常に大きな影響を与えることから令和5年6月1日に条件付特定外来生物に指定されました。ペットとして飼っている方も多いと思いますが、野外に放すことは絶対にやめましょう。
(開催日:7/8 場所:五色園 企画:NPO法人生物多様性愛護会)



第2回 段ボールコンポストを作って使ってみよう(中間点検)

各自で実施している段ボールコンポストを持ち寄り、中間点検を行いました。
これまでの実施状況をそれぞれが発表し、疑問点等を聞きました。持ち寄った段ボールコンポストの状態も見ながらやりとりしました。
発表者の取り組み方についてのコメントも、他の参加者からたくさん出て、参加者同士で情報共有が進みました。
(開催日:7/13 場所:日進野菜塾「ファーム in 流」 企画:NPO 法人日進野菜塾)



第3回 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう(除草と自然観察会)

最初に稲の生育状況についての説明がありました。「前回から1か月の間に稲がたくましく育っていた。」という声が聞かれました。次に、この田んぼに生息する生き物の説明がありました。有機無農薬でお米を作っているこの田んぼは、他の田んぼと比べて生物多様性が豊かだそうです。その後、生き物を採集し、それらについて解説がありました。「年々変化していく田んぼの環境だけど、生態系のバランスも感じながらお米を作っていきたい。」という参加者もいました。最後に、除草作業も行いました。
(開催日:7/22 場所:さんかくたんぼ 企画:にしん市民環境ネット)



梨子ノ木の森で生き物さがし

梨子ノ木の小路では、バッタやセミのほか、カゲロウの仲間のツトトンボもいて、多様な生き物を観察できました。梨の木小学校の学習林ではさまざまな葉っぱを採取して、自分だけの図鑑を作りました。参加者からは「夏休みに良い学習になった」、「思っていた以上にたくさんの虫がいて驚いた」などの感想がありました。
(開催日:7/23 場所:梨子ノ木の小路及び梨の木小学校の学習林 企画:梨子ノ木自然観察会)



第1回 親子で段ボールコンポストを作って使ってみよう

親子向けの段ボールコンポストの作成講座を行いました。子どもの参加者にも分かりやすいように編集されたスライドを使って、その仕組みや方法が説明されました。その後、子どもたちが率先して段ボール箱を組み立て、生ごみの投入も行いました。今後の自宅での生ごみの投入も子どもたちが自主的に行ってくれることが期待されました。
(開催日:7/23 場所:生涯学習プラザ 企画:NPO 法人日進野菜塾)



親子里山体験 ～里山ってなに？体験してみよう！！～

総合運動公園内の四季の森の散策をし、竹細工の笛やおもちゃを作って遊びました。竹を使った流しそうめん用の樋やお椀を作ってそうめんや野草の天ぷらを楽しみました。

カブトムシをおみやげに持ち帰りました。

日常生活では体験できない里山の恵や自然の豊かさを感じてもらえたと思います。

(開催日:7/29 場所:総合運動公園 企画:日進里山リーダー会)



にしん水生生物調査

天白川の水生生物調査を行いました。ヨシノボリやモロコ、コオイムシなどが採れました。また、アメリカザリガニやカダヤシ、ウシガエルなどの外来種も採れました。講師から、採れた魚の生態に関する解説や外来種の取り扱いについての説明を受けました。アメリカザリガニやアカミミガメが条件付き特定外来生物に指定されたことも話されました。大切な命なので生物を飼う際には、責任を持って最後まで飼養することが求められます。

(開催日:8/1 場所:天白川 共催:愛知中央ライオンズクラブ)



地球温暖化を学ぶ科学実験教室

地球温暖化による私たちへの影響として、干ばつや山火事、海水温上昇による超大型台風など、毎年のように日本や世界で起こっている災害があることを学びました。講義やアニメ観賞で地球温暖化の原因や影響について学んだ後、低温で体積が小さくなり液体になる性質が天然ガスに似ている液体窒素を使った実験を行いました。液体窒素に浸した風船が縮んでいく様子やゴムボールが少しの衝撃で粉々になる様子など、低温の性質を目の当たりにして参加者はみんな、低温の世界に興味深々でした。

(開催日:8/2 場所:市民会館工芸室 講師:東邦ガスネットワーク株式会社)



食べ物とごみのさかい目はどこ？ ～ごみをなくそう大作戦～

グループワークなどで食品ロスを減らす取組について楽しく学びました。毎日一人当たりおにぎり1個分の食品を捨てていること、賞味期限と消費期限の違いなどが講師から説明された後、グループごとに食べ物とごみのさかい目を考えました。普段お家で食べているもので「無駄になっているものはないか」「いつもは捨ててしまっているけど食べられるものがあるか」について学ぶことができました。

(開催日:8/10 場所:市役所第3会議室 講師:あいち eco ティーチャー)



ヘチマ親子料理教室

まず、初めに SDGsやマイクロプラスチックなどの環境問題について学びました。その後ヘチマの効用や沖縄での料理・レシピについての説明を受け、実際に2種類のヘチマ料理を作り、美味しく頂きました。ヘチマを食べることが初めてだった参加者は、興味深々でした。ヘチマについて興味も持ち、「家では滅多に一緒に作らない料理を作るよい機会となった。」と学びの多い講習会となりました。(開催日:8/19 場所:北部福祉会館 企画:愛知池友の会)



環境アロマワークショップ

自然の香りから新しいライフスタイルの選択(COOL CHOICE)を考えながら、アロマスプレーとアロマワックスを作りました。参加者は、さまざまな香りを嗅ぎながら香りをブレンドし、自分好みのスプレーとワックスを作っていました。香りの中にはクールダウン効果があるものがあり、体感温度が下がるという実験結果もあるそうです。自然の香りを生活の中に取り入れて、環境にやさしい生活をしてみてはいかがでしょうか。

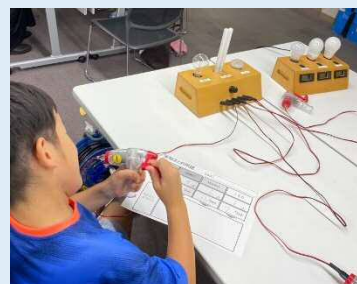
(開催日:8/21 場所:中部大学第一高等学校 企画:中部大学第一高等学校 ESD 部)



あかりのエコ教室 ~自分たちでできるあかりの省エネ~

楽しい実験を通して照明の省エネについて学びました。白熱灯、蛍光灯、LED の3種類の照明を協力して手回し発電機で点灯させました。白熱灯はみんなで必死になって発電機を回さないと点灯しませんが、LED は一人だけでも簡単に点灯させることができました。電気の使用量の測定も行いましたが LED が最小でした。LED が最も電気を使わず、省エネだということが分かりました。照明を付けっぱなしにしないのはもちろんですが、照明を LED に変更することも省エネに大きく貢献できます。

(開催日:8/24 場所:市役所南庁舎 講師:パナソニック株式会社)



第2回 親子で段ボールコンポストを作って使ってみよう

家庭の生ごみを堆肥化して、ごみを減らすことができる段ボールコンポストの作成講座を行いました。段ボールコンポストの仕組み、使い方、注意点などが、スライドや実物を使って説明されました。各家庭で1か月前から実施している段ボールコンポストの実物を持参してもらい、状況を確認し、上手く機能していないものについて、アドバイスを行いました。参加者の中には、毎日のごみの量を記録するなど、ごみ減量に対する関心の高さが感じられました。

(開催日:8/27 場所:日進野菜塾「ファーム in 流」 企画:NPO 法人日進野菜塾)



第4回 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう(かかし作り)

かかし制作キットと制作説明書を配布し、各自自宅で制作したものを田んぼに持ってきていただきました。田んぼに集まったかかしは、企画団体のスタッフが畔に打ち込んだ杭に括りつけました。自宅で時間をかけて作っていただいたことで、田んぼで一緒に作るものより作品の質が向上しました。田んぼには、通りがかりの人が写真を撮りたくなるような素敵なかかしたちが並んでいます。

(開催日:9/2 場所:さんかくたんぼ、各自宅 企画:にっしん市民環境ネット)



第3回 外来種バスター ~ペットボトルトラップで魚採り~

親子で楽しんでペットボトルでトラップを作って、魚を採りました。池に沈めたペットボトルトラップを引き上げてみると、モツゴ、タモロコ、ヌマエビなど、多くの在来種の魚が採れました。外来種の捕獲はできませんでしたが、多くの魚が捕獲できたことに子どもたちからは、歓声が挙がっていました。

(開催日:9/9 場所:赤池町上納池 企画:NPO法人生物多様性愛護会)



ヘチマでたわし作り

まず SDGsと、たわしについての説明に始まり、現在のマイクロプラスチックと、環境についての説明がありました。次に、ヘチマたわしの実習です。子どもたちは、ヘチマを足で踏みつぶして、皮を剥ぎ、煮たヘチマを洗い、種をとりだすことを、遊び感覚で楽しそうに、夢中になっていました。作ったたわしは持ち帰ってもらいました。ヘチマ水の説明では、採取と使用法を説明し、大人の参加者が興味を持って聞いていました。

(開催日:9/23 場所:生涯学習プラザ 企画:愛知池友の会)



第3回 みづかな自然観察会~秋の生きもの~

草地でのバッタ捕り、池の周りでの動植物の観察や湿地の見学をしました。草地には昆虫がたくさんいて子どもたちは大喜びで、昆虫採集を楽しみました。湿地の見学では、講師の解説を聞きながら、絶滅危惧種にも指定されている貴重な植物を観察しました。「シラタマホシクサがものすごくきれいで感動した。」、「五色園には貴重な自然が残っていることを初めて知った。」との声が聞かれました。

(開催日:10/7 場所:五色園 企画:日進岩藤川自然観察会)



第5回 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう(稲刈り)

みんなで協力して稲を刈りました。その後は、落穂拾いや畑で敷き藁などに
使うための稲穂を束ねる作業を行いました。参加者からは「細くて小さな苗が
4か月で何本もの太い株になっていて感動した。」などの声が聞かれました。
今年の収穫量は昨年の1.5倍です。次回の収穫祭が楽しみです。
(開催日:10/7 場所:さんかくたんぼ 企画:にっしん市民環境ネット)



第3回 段ボールコンポストを作って使ってみよう(活用)

各自持参したコンポスト堆肥を使って寄せ植え講座を実施しました。参加者同士で
お互いの堆肥の出来具合を確認しました。堆肥と土をブレンドしてプランターに入れ、
ハーブの苗や野菜の種をまきました。段ボールコンポストを使うことで、可燃ごみ
を出す量が減った方や、これまで大きいサイズのごみ袋を使っていた方が小さいもので
済むようになったなど、ごみ減量につながる取組となりました。

(開催日:10/12 場所:日進野菜塾「ファーム in 流」 企画:NPO 法人日進野菜塾)



蝶の観察会

渡り蝶であるアサギマダラの生態を実際の写真や紙芝居を使って分かりやすく
説明しました。講座が始まってしばらくは小雨が降っていましたが、天気が回復して
くると、一頭のアサギマダラがどこからか飛んできてくれました。参加者は、
アサギマダラの美しい姿に感動していました。

(開催日:10/15 場所:愛知池バタフライガーデン 企画:愛知池友の会)



樹木医が伝える“木の言葉”

秋晴れのもと、樹木医さんの説明を聞きながら“梨子ノ木の小路”と梨の木
小学校の学習林を歩きました。“木の言葉”とは、生育環境や病虫害への
樹木の反応が示す“ボディランゲージ”のこと。根元、幹や枝葉、根元の
様子から木の状態を聴き取ります。樹木クイズから始まり樹木の名前や特徴、
生き物同士の関係、倒木とキノコのこと等、樹木について知る良い機会になり
ました。

(開催日:10/29 場所:梨子ノ木の小路及び梨の木小学校の学習林 企画:梨子ノ木自然観察会)



第3回 親子で段ボールコンポストを作って使ってみよう

各自持参したコンポスト堆肥を使って寄せ植え講座を実施しました。参加者同士でお互いの堆肥の出来具合を確認しました。堆肥と土をブレンドしてプランターに入れ、ハーブの苗や野菜の種をまきました。

堆肥の出来具合はそれぞれでしたが、3回の講座を通しての満足度を聞くアンケートでは、ほとんどの参加者が「とても満足」としていました。

(開催日:11/5 場所:日進野菜塾「ファーム in 流」 企画:NPO 法人日進野菜塾)



折戸川ホテルの里 GOMI 拾い大会

家の周りや普段気になっているところのゴミを拾い、それを持ってホテルの里に集合しました。SDGsやマイクロプラスチックについての話の後、4組に分かれて折戸川沿いを歩きながらゴミを拾いました。

その後、お楽しみ抽選会と「たくさん拾ったで賞」の表彰式を行いました。

大きなゴルフバックを含め、参加者の集めてきたゴミの量は毎回増えています。

(開催日:11/11 場所:折戸川ホテルの里 企画:折戸川にホテルを飛ばそう会)



ヘチマフェスティバル ~サンバのリズムでヘチマ健康体操~

環境にやさしい自然素材であるヘチマの普及促進のために、ヘチマを身近に感じてもらうと、サンバのリズムに合わせてみんなで楽しくヘチマ健康体操を行いました。講座の中ではマイクロプラスチックについての座学もありました。

また、ヘチマを使ったたわしやヘチマ水などの展示も行いました。

(開催日:11/12 場所:あいあいの家 企画:愛知池友の会)



東部丘陵クリーン作戦

緑と水に恵まれ、多様な生物が生息する東部丘陵の沿道に放置されたごみを、深まる秋を感じながら拾いました。また、東部丘陵の地形や湿地のでき方などの話の後、岩藤新池湿地を見学しました。シラタマホシクサの草紅葉、スイランなどを観察しながら、湿地の春の様子についての解説を聞きました。

(開催日:11/25 場所:総合運動公園から岩藤新池付近 企画:東部丘陵を守る連絡会)



親子里山体験 ～里山ってなに？体験してみよう！！～

里山の成り立ち、役割などについての解説を聞いた後、四季の森を散策し、秋の里山の様子を観察しました。その後、竹細工の笛や鉄砲などのおもちゃを作って遊びました。最後に、竹炭を使ってさつま芋や五平餅を焼き、大きな葉っぱのお皿にのせて食べたり、秋の野菜たっぷりの味噌汁を楽しんだりして、里山の恵みを味わいました。参加者からは、「竹細工が楽しかった」、「焼き芋や五平餅が美味しかった」などの声がありました。（開催日：11/25 場所：総合運動公園 企画：日進里山リーダー会）



第6回 有機無農薬のお米づくりで田んぼの豊かさを満喫しよう(収穫祭)

田植えから収穫までを全6回の講座に分けて行うお米作り体験の最終回である収穫祭を行いました。今回は、焼き芋を焼き、ご飯を炊き、豚汁を作りいただきました。お米の配布をし、おみやげに柚を用意しました。参加者はみんな笑顔でいっぱい、にしかねのたんぼと畑で育った収穫物を存分に楽しむことができました。

（開催日：12/2 場所：ラッキーファーム 企画：につしん市民環境ネット）



竹を使ったレインスティック作り

使用する竹についてとレインスティック楽器の説明をして、工作を始めました。らせん状の小さな穴をたくさんあけ、そこに竹櫛を入れて穴をふさぐ工程を繰り返し、丸い蓋をつくり表面を紙やすりで磨いたら出来上がり。楽器作りは難しい工程でしたが、親子で真剣に、でも楽しく協力し合いながら一本を作り上げました。それぞれが作った楽器を鳴らして演奏し、最後にみんなで合奏しました。

（開催日：12/2 場所：生涯学習プラザ 企画：愛知池友の会）



第4回 みづかな自然観察会 ～冬の生きものと落ち葉の下の生きもの～

冬芽や紅葉、落ち葉の下の土壌生物などの観察や生態系ピラミッドの解説を聞きました。生態系ピラミッドの解説では、土の中にも土の中の生態系があることが説明されました。土の中の観察では、これまで土の中を観察する機会がなかった参加者は、虫を見つけると嬉しそうに大声をあげていました。

（開催日：12/9 場所：総合運動公園 企画：日進岩藤川自然観察会）



東部丘陵の植物でクリスマスリース作り

東部丘陵の場所などに関して、また季節ごとに出会える植物や生きものたちの紹介の後、リース作りを行いました。今回リースに使う植物についての説明を聞いてからそれぞれが思い思いの材料を選んで、オリジナルなリースを作っていました。作っている途中も植物採集の時の話をしたり、リースに使っている植物のことも紹介したりしました。子どもも大人もリース作りを楽しみながらも、今回の講座を通して東部丘陵を身近に感じてもらえたと思います。
(開催日:12/17 場所:生涯学習プラザ 企画:東部丘陵を守る連絡会)



第5回 みぢかな自然観察会 ～自然観察入門(早春編)～

総合運動公園内で生き物を観察しながら、冬芽、生き物の冬越の様子、野鳥観察、どんぐりの形比べ、木材腐朽菌と地衣類や苔の違い、蜘蛛のバルーニングなどの解説がありました。
普段はあまり注意しませんが周辺に植物や動物など様々な生き物がいることや、それぞれの生態の違いを知って、とてもおもしろかった。また参加したいとの声が参加者から聞かれました。
(開催日:2/24 場所:総合運動公園 企画:日進岩藤川自然観察会)



第6回 みぢかな自然観察会 ～早春の生き物観察会・おたまじゃくしの里親～

総合運動公園内で生き物を観察しながら、おたまじゃくしの里親について説明がありました。
冬芽、昆虫、菌類、鳥を観察し、それぞれについて、解説がありました。
普段はあまり注意しませんが周辺に植物や動物など様々な生き物がいることや、それぞれの生態の違いを知って、とてもおもしろかった。
おたまじゃくしは、きちんとお世話をして、大きくして、自然に返したいなどの声が参加者から聞かれました。
(開催日:3/9 場所:総合運動公園 企画:日進岩藤川自然観察会)



ホタルの里 幼虫放流会

少し冷たい風の中を、園児がホタルの里まで元気に歩いてきました。ホターマンとピカちゃんにホタルのお話を聞き、コップに入ったゲンジボタルとハイケボタルの幼虫をホタルの里に放流しました。この日のために会員が育てたハイケボタルは1,500頭! ゲンジボタルは800頭! 親子連れの参加者や学生体験ボランティアの皆さんも放流しました。「ホタルになって飛ぶ頃にまた見に来てね」とホターマンとピカちゃんからお誘いがありました。
(開催日:3/13 場所:折戸川ホタルの里 企画:折戸川にホタルを飛ばそう会)

